

インタビューテーマ

1 大船渡市の強み（自慢できる点、好きな点など）弱み（課題や不安な点など）について

①若手経済団体及び若手経営者

【強み】

- ・市民の温かさ、フレンドリーさを日常で感じている。
- ・陸前高田市民からも聞くが、夜の店舗が大船渡市が多い。
- ・水産物の取扱量、安くておいしい水産物が食べられる。
- ・マイヤ、さいとう製菓、橋爪商事など優良企業が多い。
(いったん大船渡市を出て、外から大船渡市を見る視点も大切)
- ・自然が豊か、食べ物がうまい。
- ・自然（岩石）、文化の歴史、産金の歴史、郷土芸能など特筆すべき点がある。ジオパーク、独特の自然景観がたくさんある。潮風トレイルの参加者も、市民の温かさを感じている。
- ・佐々木朗希選手のふるさと。

【弱み】

- ・特に感じていない。
- ・店舗に個室がない。お客様同士で公私の区別がつけにくい。
- ・お振る舞いが過ぎるところ。
- ・優しさの反面、知り合いには深いが、よそ者には冷たい。大船渡市ゆかりの有名人のPRが足りない。ブランディング価値の導入を。
- ・最寄りの駅から、大船渡市へのアクセスが悪い。首都圏からのアクセスが足りない。
- ・魅力の売り出しが下手。価値を加えて、高価格で売り出しが必要がある。
- ・高価格の贈答品など、トップセールスの強化をしていく必要がある。
- ・前のめりの方が多いが、点の魅力にしかなっていない。線・面の魅力発信が必要。
- ・ドライな人が多い。「やってくれるなら、勝手にどうぞ」というスタイルの方が多い。ドライな背景、大企業があるので、個々の危機感が薄いのではという一因がある。前のめりの方をつなぐことが必要だと思う。若手が必要だというなら、もっと若手を。若い女性を探し出せないのも弱みかなと感じる。
- ・強みを思いつけないことが弱みなのかなと感じる。

②農林水産業者

【強み】

- ・漁業関係で言えば、サンマ。漁獲量本州一を継続していること。
- ・サンマの水揚げが多いこと。
- ・本州一を誇るサンマ。ただし、一極集中である点は不安要素。また、「場所」という強みもあると思う。三陸道により他県や県北からの物流、仙台にアクセスしやすい点など。
- ・佐々木イザベルさんの講演があったが、市外から来られた方は新しい視点を持っており、「漁師と話をするだけで観光資源になる」という話を聞いた。
- ・内陸とのアクセスについては改善を望むが、久慈や仙台まで約2時間。
- ・海と山がある自然。
- ・他市町村と比較して冬の寒さが厳しくない、降雪が少ないこと。他の産地よりも早く栽培でき、長期間可能である点。
- ・海と山に恵まれているところ。

【弱み】

- ・定置網の漁獲量が減ってきてていること、水揚げの変動が大きいこと。また、漁業のまちであるので、貝毒により出荷できず休業せざるを得ないことがある。
- ・定置の水揚げが落ちたり、さんまも昨年は大幅に落ち込んだりという不安定さ。今後の見通しが不安。
- ・農業に関しても高齢化、人口減少は弱み。人がいないと産業が成り立たない。交通の便、内陸へのアクセスが悪いこと。農業を生業としている方にとって輸送コストの上昇は深刻。
- ・最近悪化している鳥獣被害も、対策しなければ農業者はやっていけないという声がある。鹿、サル、クマへの対策が必要。
- ・沿岸全体についてだが、耕地が狭く規模が拡大できない=効率が悪い点。農業で生計をたてるのは難しく、兼業農家が大半を占めている。後継者不足もある。
- ・人口が減り高齢化が進み、若い人が林業に入ってくることがなく、担い手が少ない。林業を発展させていきたいが、「きつい、きたない、危険」という3Kのイメージがあるかもしれない。
- ・漁業について、一番の弱みは後継者（不足）と思う。漁協でも後継者確保や新たな参入者などの対策を積極的に進めてほしい。

③子育て世代及び関係者

【強み】

- ・自然が豊かで食べ物がおいしい。子育て支援が手厚い。他市町村からの転居者からも、そのような声を聞くことがある。
- ・子育てガイドブックや「つばきっず」などで、妊娠・出産に関する情報提供が充実している。
- ・都会に比べてのんびりした時間を過ごせる。三陸道ができたことで交通の便もよくなつた。子育て支援に関する情報も充実。
- ・海と山があり自然が豊か。子育て情報が充実している。
- ・自然が身近にある。子どもが騒いても苦情が来ない。
- ・気候がよく、一年を通して過ごしやすい。人が優しい。
- ・漁業が盛ん。
- ・子育て支援センターがあり、イベント等で助かっている。
- ・港がある。

【弱み】

- ・特がない。
- ・少子化が進行。日頃市保育園では入園者なしとなっている。
- ・住むには良いが、遊ぶとなると年齢が上がるにつれて適した場所やイベントが少なく感じる。
- ・子ども用品を扱う店が少ない。未就学児の遊び場は充実しているが、中高生が利用できる場所は少ない。
- ・若い人が「ここで生活しよう」「友達とどこへ行こうか」と思える魅力的な店・施設が少ない印象。
- ・小学生以上が遊べる場所が乏しい。以前住んでいた山形県では、各自治体に屋内レジャー施設があり助かっていた。
- ・それ以外の職を求めて若い人は市外へ行ってしまう。

- ・小学生の居場所が少ない。放課後に遊びに行ける場所が乏しい。学校に行きにくい子どもへのフリースクールなども不足。
- ・港を生かした観光客向けイベントがあると良い。交通インフラがもう少し欲しい。

④高校生

【強み】

- ・一つは海産物で、本州一の水揚げのサンマや、吉浜で有名なキッピングアワビなど。もう一つは景色で、碁石海岸や海、山など自然豊かなところ。
- ・水産業、食料品製造業が強く、それらで地域経済が動いているところ。また、自然そのものが観光資源になっている。暮らしやすい気候、夏は涼しく冬の積雪が少ない。
- ・天然の良港である大船渡湾や、風光明媚なリアス式海岸。
- ・自然が豊か、四季を通じて過ごしやすさ、地震津波の経験から、知識や備えがあること。
- ・自然の豊かさが観光、産業につながっていること。また、イベント、郷土芸能が多いこと、それらにより地域の交流ができている。
- ・防災教育や復興の知識、経験、自然豊かなところも強み。五葉山や碁石海岸、貝塚もある。
- ・海産物などの資源が多いこと。
- ・海産物が多いこと、自然豊かなところ。
- ・人がいい、若者の意見をしっかり聞いてくれること。
- ・自然豊かで海産物が豊富。人口が少ない分静かで住みやすい。勉強の環境として良いところ。
- ・地域の人が優しいところ。釜石に比べ、挨拶してくれる人が多く自分たちの活動にも協力的。釜石よりイベントが充実している。
- ・地域連携が強いところ。高校では企業や組合に協力いただき課題研究ができた。そういった連携の強さを活かせれば市の発展にもつながると思う。

【弱み】

- ・交通。BRT や三陸鉄道の本数が少なく、時間帯も不便。最寄り駅の吉浜駅まで約 6 ~ 7 km と、自宅から駅までが遠い。高速道路はあるが、みんな（大船渡から）他の地域に行ってしまう。
- ・人口減少や若年層の流出、大学が市内になく、大学卒業後に大船渡に戻ってこないこと。大船渡の特徴やブランドイメージがないので、発信が必要では。
- ・大都市からのアクセスが悪いこと。公共交通機関が弱く、新幹線からの乗り継ぎも悪い。仙台市からも車で約 2 時間半かかる。また、平地が少なく、土地の制約が多いことも。
- ・少子高齢化。
- ・公共交通の不便さ。通学路の街灯が少なく安全面で不安がある。
- ・情報発信力や PR 不足なこと。地元の良さを感じていない人が多いと感じる。また、地域間格差があり、大船渡市中心部にイベントが偏っていること。
- ・若い人が都会に行ってしまい地域に残らないこと。
- ・人口減少や高齢化。
- ・バスの本数が少ない、若者が遊ぶ場所がないこと。また、あまり人の目が届かないからか、ゴミのポイ捨てなどが多い。
- ・三陸鉄道の本数が少ない、市内に空き地が多く、サッカーグラウンドはあるが広い空き地がありそれらをどうするのか…サンリアなどに、もっと若者向けの店が欲しい。
- ・交通が不便なところ。三鉄やバスの本数が少なく不便。
- ・買い物をする際の商業施設が少ないと感じた。こども向けの店を増やしてほしい。
- ・カラオケがない。